

# 全都清ニュース

平成21年度第1号

「平成21年度補正予算によるごみ収集車等の導入補助」について通知されましたので、参考までにお送りいたします。

なお、本制度の執行体制等詳細については、現在、環境省において検討中であり、明らかになり次第別途通知される予定です。

平成21年4月

社団法人 全国都市清掃会議

事務連絡  
平成21年4月13日

各都道府県  
各政令指定都市  
自動車環境対策担当課 低公害車担当者 様

環境省水・大気環境局  
自動車環境対策課

平成21年度補正予算による塵芥車、ごみ運搬車等の導入補助について(通知)

環境行政の推進につきましては、平素より格別の御協力をいただき、御礼申し上げます。

さて、環境省では、「低公害車普及事業」を実施しているところであり、貴管内の市町村の要望のとりまとめ等、御協力いただいているところです。

現在、政府では平成21年度補正予算案を策定しているところであり、その中で「自動車低公害化推進事業〔地方公共団体等の保有する自動車の低公害化〕」として、別添の内容の導入補助制度が措置される見通しとなりました。

つきましては、地方公共団体及び収集事業者が今年度塵芥車を更新するにあたり、本制度を積極的に利用することが期待されるため、本件につき、貴管内の市町村へ速やかに周知されるようお願い申し上げます。

特に、自治体の直営車両につきましては、通常車両との差額100%相当の定額補助となっておりますので、更新予定の車両をこの際可能な限りハイブリッド自動車またはCNG自動車とするよう特段の御協力をお願い申し上げます。

また、通常予算では補助の対象としていない委託業者等の車両についても、今回は差額1/2相当の定額補助としており、これらの車両についての低公害化の推進についても、この際、特段の御配慮を頂きたいようお願い申し上げます。

本制度の執行体制等詳細については検討中であり、明らかになり次第、早急に別途通知する予定です。

なお、本件については、平成21年度補正予算の国会議決前であることに御留意願います。

本件連絡先：自動車環境対策課 小田上
TEL 03-3581-3351(内線6528)
TEL 03-5521-8301(直通)
FAX 03-3593-1049
E-mail: TAKAYUKI_ODAGAMI@env.go.jp

自動車低公害化推進事業  
〔地方公共団体等の保有する自動車の低公害化〕

3,500百万円

水・大気環境局自動車環境対策課

## 1. 事業の概要

「京都議定書目標達成計画（平成20年3月28日）」では、クリーンエネルギー自動車を2010年度までに69～233万台普及することとしている。また、「低炭素社会づくり行動計画（平成20年7月29日）」においても「次世代自動車を2020年までに新車販売の2台に1台の割合で導入」との目標が記載されている。

このように、ハイブリッド自動車・CNG自動車（以下「ハイブリッド自動車等」という。）等の次世代自動車の普及は低炭素社会の構築のための柱の一つとなっている。

しかしながら、地方公共団体等が保有する塵芥車、ごみ運搬車等については、地方公共団体等の経済的負担等の要因によって低公害化が遅れている。

そこで、本事業では、これらの車両の導入に当たり補助を実施することにより、地方公共団体等が率先してハイブリッド自動車等の次世代自動車を導入することを支援するものである。

補助金交付事務の執行に際しては、適切な執行事務実施者を選定し、これに行わせる。

## 2. 事業計画

地方公共団体、収集委託業者及び収集許可事業者が塵芥車、ゴミ運搬車等としてハイブリッド自動車等を導入する事業に対して、その費用の一部を補助する。なお、地方公共団体の補助対象車両については、「エコドライブコンテスト」への参加を条件とする。

執行事務実施者には、補助金交付の事務に要する費用を交付する。

## &lt;補助額&gt;

【地方公共団体向け】	ハイブリッド自動車	CNG自動車
積載量4t未満	980千円	980千円
積載量4t以上	2,750千円	3,200千円

注) 通常車両との差額100%相当の定額補助

【収集委託業者等】	ハイブリッド自動車	CNG自動車
積載量4t未満	490千円	490千円
積載量4t以上	1,375千円	1,600千円

注) 通常車両との差額の1/2相当の定額補助

## 3. 施策の効果

ハイブリッド自動車等の導入により、排出されるCO<sub>2</sub>や大気汚染物質を削減するとともに、率先導入の効果による価格低減を図る。

## 自動車低公害化推進事業

### 〔地方公共団体等の保有する自動車の低公害化〕

○京都市議定書目標達成計画(平成20年3月28日)

・クリーンエネルギー自動車(ハイブリッド自動車、CNG自動車等)を2010年度までに69~233万台普及

○低炭素社会づくり行動計画(平成20年7月29日)

・次世代自動車(ハイブリッド自動車、CNG自動車等)を2010年度までに新車販売の2台に1台の割合で導入

しかし...

○地方公共団体、収集委託業者、収集許可業者(地方公共団体等)が保有する塵芥車、ごみ運搬車等については、地方公共団体等の経済的負担等の要因によって、低公害車化に遅れ

・保有台数(平成18年度):

地方公共団体:約1万6千台、収集委託業者:約3万5千台、収集許可業者:約11万4千台、合計 約165,000台

・このうち平成21年度に更新を見込んでいる台数: 約4,650台

・地方公共団体が保有する塵芥車その他の特種用途自動車における低公害車の普及率:約11%

[普通乗用車、軽自動車等は、約25%]

### 次世代自動車の導入支援

地方公共団体等の塵芥車等について、平成21年度にハイブリッド自動車・CNG自動車を導入する場合に、地方公共団体については通常車両との差額相当分の定額補助を実施、収集委託業者等については通常車両との差額の1/2相当分の定額補助を実施

(平成21年度 約35億円)

環境面の効果:約9,300t-CO<sub>2</sub>/年

:約 100t-Nox/年

売上 :約 372億円

ハイブリッドトラック、天然ガストラック等の低公害重量車を製造販売するメーカーの支援





